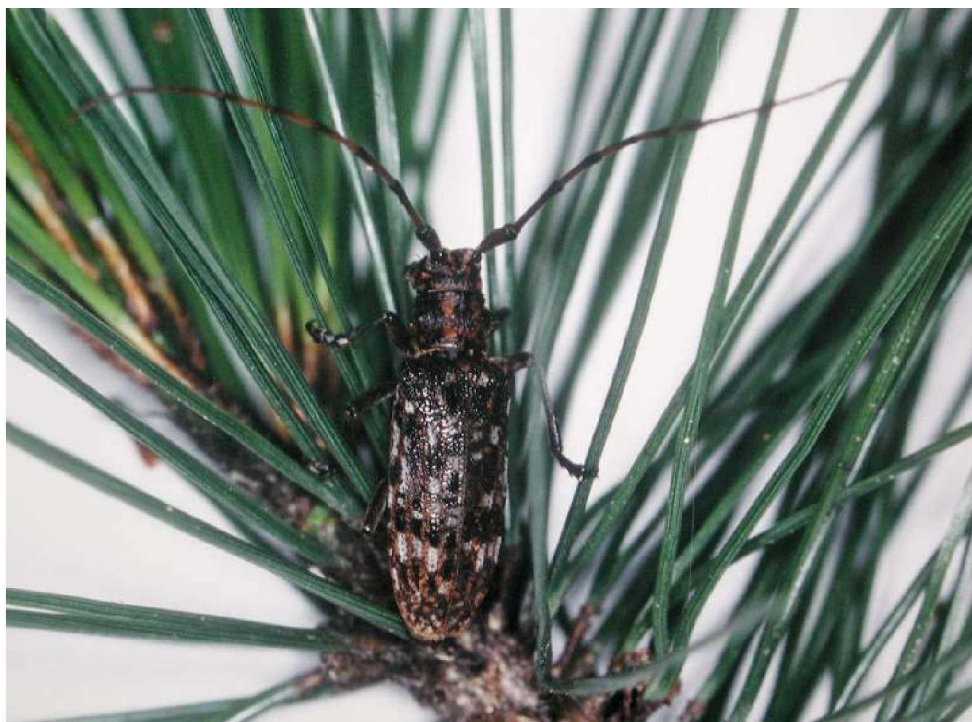


「今週の1枚」



マツノマダラカミキリ （カミキリムシ科）

いわゆる「松くい虫」として有名なマツ材線虫病の媒介者。おそらく、日本にこの病気が渡来する前は、マツノマダラカミキリは枯れかかったマツを加害してほそぼそと生活していただけの「ただの虫」の一種であったのだろうが、病気の原因であるマツノザイセンチュウが北アメリカから日本に侵入したことにより、一躍、マツの大害虫へと転じた。成虫は6～7月に出現するが、この虫が材線虫を媒介することによって感染したマツは、秋になると葉が赤く変色して枯れていく。(佐藤)

(No.15 2001.9.10 掲載)